

令和5年度 日本大学 学生FD CHAmmit

第4回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生FD CHAmmit スタッフ一同



自主創造
日本大学

日本大学学生 FD CHAmmit では、第4回のスタッフミーティングを 8 月 22 日に対面で日本大学本部にて開催し、ファシリテーション研修を行いました。

本報告書は、私たち学生の声を教職員の皆さんと共有する事で、日本大学の教育をより良いものにしたいという狙いの元に作成・公開しています。本報告書が学生、教職員、そしてそのほかの日本大学に関わる人々にとって、少しでも参考になれば幸いです。

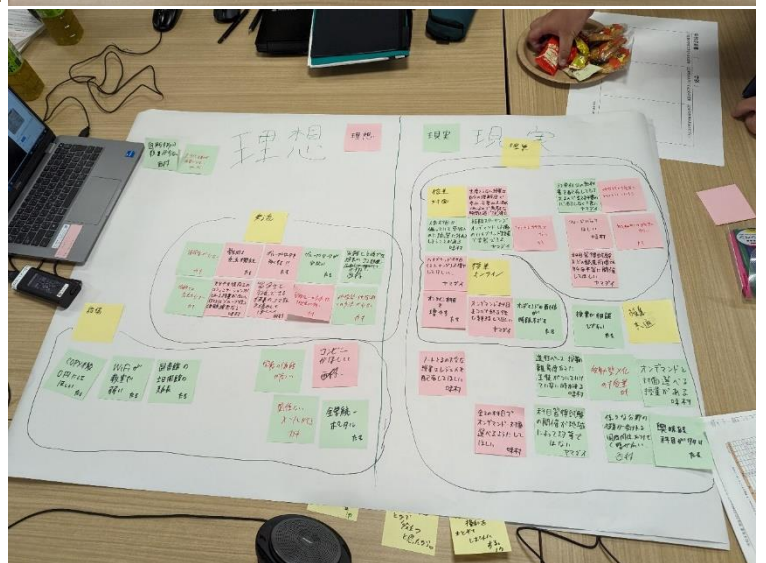


○ファシリテーター研修

より本番に近いファシリテーター研修として当日と同じ時間配分に設定し、アイスブレイクからセッション1~3までを通して行いました。セッションごとにメンバーを入れ替え、その都度ファシリテーターに対してフィードバックをし、それぞれの良さや改善すべき点を共有しました。

【各班の模造紙】

○セッション2:『あなたが大学に望む教育は何ですか?』



○セッション3:学部提案書(模擬)

共通項	①理想の学部にするための提案	②理想の大学にするための提案	③日大教育の未来のビジョン
交流	他学部、学科間の交流を増やす イベントによる交流を増やす	日大生が交流できる場所 (交流の場、サロンなどの提供) 交流できる授業の存在を広く知らせる、交流開催回数を伸ばす 他学部との交流が欲しい (日大全体文化祭、他学部授業ワールドカフェ充実、グループワーク) イベントサイトの設営、告知 (大学全体のイベント情報)	大学主催の交流会を設ける 全学部で行われるイベントの多い大学 繋がりによる就職に強い大学 イベントを補助してくれるシステムのある大学
環境	対面とオンデマンドの選択 公欠の学生への対応 教員へ要望が届く制度 出席確認の統一(公正) 成績のつけ方の統一	対面オンデマンドの割合決定 公欠の基準の決定と証明手段 学部目安箱の周知 ICT技術の活用 学ぶ環境の充実 (宿泊施設、アクセスの悪さ、自販機の不足)	別々に行われていることをシステム化 学生の声が届く大学 不正な出席が行われない大学 各キャンパスの距離が近い大学
授業	郵送でレポートを出す際の期日を消印基準にする(課題の提出期間統一) コロナ前の課外授業を増やす 授業間の時間を伸ばしてほしい	授業の提出方法に選択肢が欲しい、知識の共有 コロナ対策をしつつ回数を増やす、存在を広く知らせる 他学部科目履修システム	この大学で授業をしたいと思ってもらえる良い印象のある大学 アクティブラーニング導入

今回のミーティングでは、皆ファシリテーション技術が上達し、どの班でも活発な議論が行われていました!



フィードバックの際には、改善点よりも「うまく話題を深掘りできていた」や、「本当に初めて?」といった良い点が多く聞こえてきました。

今回のミーティングで得た気づきを大事にしながら、CHAmmiT 本番を成功させるために頑張ります!

